



教育会報

第 24号

平成16年9月1日

東京理科大学教育会

事務局 東京理科大学理窓会館4階

「意識」と「表現」

四国ブロック副会長

松尾博規(59理大)

現在、仕事の関係などから月1回程度のペースで東京する機会があり、学生時代を思い出しながらJRの中から理大の雄姿を眺めています。そして、その雄姿から母校が建学の精神を貫きながら大胆で斬新な取組みを着実に展開し科学技術の発展に寄与し続けていることを実感し、それらを国内外の様々な機関から高く評価されていることを思い出し、嬉しく懐かしい気持ちで胸一杯になります。

さて、現在は少子高齢化社会の到来を迎え、教育の世界も大きく変化しています。教育基本法の改正論議、学習指

導要領の改訂、ゆとり教育と学力低下論争、青少年の凶悪犯罪、心の教育の充実など教育に関する論争や課題は尽きません。

しかし、学校現場や教育の実態を最もよく知っているはずの教師は、これらのことについてどのように考えているのでしょうか。特に、これらの論争の渦に巻き込まれてきている児童・生徒のことをどのように考えているのでしょうか。また、教員の世界は独特で、一般企業のような厳しさがないとか、学校の先生は常識がなく社会性に乏しいなどと批判されることもありすが、これについてはどのように認識しているのでしょうか。

言うまでもなく、教師は教育のスペシャリストとしての使命を自覚し、将来の社会を担う子どもたちに与える影

響の大きさを認識しておく必要があります。しかし、教育の本質は変わらなくても、社会の変化に伴って教師の「意識」や「表現」は変えることが必要であると考えています。

「意識」とは、様々な事柄に対して常に問題意識をもつこと、教育者としてのプロ意識を持つこと、時間と情報に対するコスト意識を持つことなどがあげられます。「表現」とは、多くの人から意見を聞くことを含め、行っていることを誰にでも分かるように表現(説明)し、理解を得ることです。崇高な理念や実践があっても表現力が乏しかったり、表現方法が不適切だったりすれば、多くの人から理解を得ることは難しいのです。これは、日々の授業についても全く同じことが言えるのではないのでしょうか。

平成十六年度 総会報告・全国支部長会報告

そのため、本県の県立高校では、全学年の全科目のシラバスを作成し、生徒や保護者に授業内容や評価等についての説明しています。公開授業を行い保護者や住民等からの意見を聞き、授業等の改善に向けた対策を行っていきます。生徒からの授業評価を実施し、評価結果を授業改善に活かしています。変化・変革が言われる時期だからこそ、教育における不易と流行を見極めながら、教員が意識改革し、しっかりと説明をすることが特に重要だと考えています。このような取組みにより、学校や教師の意識が少し変わってきたという声も聞こえてきますが、成果が顕著に現れるにはまだ時間がかかりそうです。

母校の益々の発展を祈っています。

笹沼 亀治(24S)

開沼 恒治(33S)

平成十六年五月二十六日、東京飯田橋の研究社ビルにおいて、会長、理事十一名、支部長十五名(含会長、副会長兼務七名)出席の下に行われた。支部長を招くことについては、東京理科大学理事長の格別のお力添えによることを付記し謝意を表したい。磯脇理事の司会で、酒井会長の挨拶を皮切りに出席者紹介、母校創立百二十五周年記念事業募金への協力を確認し、教育会活動報告等が承認された。各議案について若干説明します。

第一号議案

- ・会長改選を行い、酒井 洋氏が会長に決まり、前会長有 竹雅夫氏を名誉会長に推戴することになった。
- ・本会は理念会の関連組織になった。
- ・理念会幹事の選挙に当って、理念会各支部長に会員を推薦した。

第二号議案

小泉 眞悦(25S)

黒谷 義雄(32S)

平成15年度会計決算は5月26日全国支部長会においてご承認を戴きました。今年は予想以上に会費の納入が多うございました。皆様のご協力の賜物と存じます。・会員が四八三名に増えた。・支出は極力切り詰めた。・特別会計(地区別支部長会費)会

項目	15年度決算	16年度予算
前年度繰越	450,011	650,029
当該年度会計より	200,000	240,000
受取利子	18	-
合計	650,029	890,029
地区別支部長会費	0	500,000
次年度繰越	650,029	90,029
合計	650,029	890,029

第三号議案

笹沼 亀治(24S)

開沼 恒治(33S)

計)地区別支部長会を開くとき一県に一万円、一地区に一万円を補助するもの。

・今年度は副会長の改選時期に当たっているため、地区別支部長会の開催のとき、先の補助金を活用願いたい。(副会長は二期まで務められる)

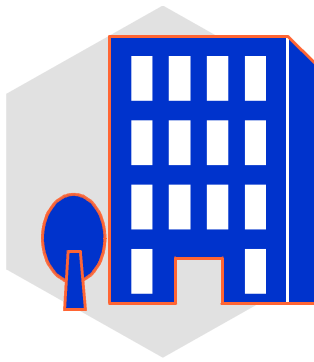
- ・会則改正(第五号議案)を提案。
- ・会費納入者の増加に努める。
- ・母校創立百二十五周年記念冊業募金へ協力(一口五万円)

第四号議案(予算)

小泉 眞悦(25S)

黒谷 義雄(32S)

平成16年度予算案は5月26日の全国支部長会においてご賛成を戴きました。今年は支部長会積立金を少々増額致しました。予算の執行等につきましてもご協力の程、お願いいたします。



第五号議案（会則改正）

・本案は全くのたたき台であり、各支部で支部総会等の機会にご検討いただき、来年の一月頃までにご意見を頂き、理事会で正式の改正案を作成し、来年の総会で決定する。

各支部長から

・広島 会費をいただくには、会員に資料を送り続けて、十年はかかるものと覚悟しなければならぬ。

・福井 若い人の中には教育会に入ると、どんなメリットがあるのかという意見がある。大学の説明会を現地で開いてほしい。

・埼玉 総会のほかに管理職の会もある。研修会も定期的に開いているが四十名位は集まる。以上

資料 1（第1号議案）平成15年度活動報告

（平成15年5月1日～平成16年4月30日）

1. 総会

各支部長に次の括弧内の議案を平成15年5月中に送付し、承認をいただいた。
（平成14年度の会務報告及び会計報告、平成15年度の予算案及び活動計画）

2. 組織の充実、強化に関して

会長の改選を行い、酒井洋氏を選出した。また、前会長有竹雅夫氏を名誉会長に推戴した。

各支部の活動状況

平成15年6月29日 富山支部総会

9月6日 広島支部総会

10月5日 香川支部総会

11月9日 東京支部総会

11月15日 岩手支部総会

11月16日 兵庫支部総会

11月22日 静岡支部総会

11月29日 秋田支部総会

11月29日 埼玉支部総会

平成16年1月24日 鹿児島支部総会

地区別支部長会：実施しなかった。

会報発行

第22号平成15年9月1日に発行、第23号平成16年3月6日に発行

3. 財政の健全化に向けて

平成15年度の会費納入者は、前年度より増加した。また支出については極力抑制している。

4. その他の活動

次の については平成16年3月6日、東京理科大学・森戸記念館において行われ、来賓としてご出席の石井忠浩理事、鈴木公学長補佐、宮川良男生涯学習課長から祝辞と激励の言葉をいただいた。

管理職に昇任された方々への記念品贈呈を年度当初、各支部長にお願いして管理職の調査を行っています。この調査に基づき、平成15年4月に初めて昇任された方々に記念品を贈り祝意を表した。

新規採用教員予定者激励会の開催東京支部の主催で採用予定者22名を招いて激励会を開催した。

編集委員会

平成15年9月1日第22号の発行について、平成16年3月6日第23号の発行について

指導委員会

生涯学習課が実施する教員希望学生特別講習会（3年生対象・合宿クラス・4年生対象）、帰国子女入学予備教育講座へ講師を紹介した。

就職課が実施する教職ガイダンス（12月は3年生対象、5月は4年生対象）及び面接指導への講師を紹介した。

研修委員会東京支部会員を中心に管理職受験希望者に対して「基礎研修」「実践研修」「直前研修」「面接研修」を実施した。東京近辺の支部会員も受講している。理窓会幹事の選挙に当つて、理窓会各支部長に会員を推薦した。

資料 4 (第 4 号議案) 平成 1 6 年度予算案

平成 1 6 年度 予算案	
収入の部	
会費	430,000
理窓会正会員協力金	9,000
雑収入	906
前年度繰越金	129,094
合 計	569,000
支出の部	
交通費	30,000
慶弔費	20,000
会議費	50,000
支部長会積立金	240,000
事務費	30,000
会報印刷費	50,000
郵送費	100,000
記念品代	40,000
予備費	9,000
合 計	569,000

資料 2 (第 2 号議案) 平成 15 年度会計報告

平成 1 5 年度 会計報告書	
収入の部	
前年度繰越金	94,810
納入会費	483,000
理窓会正会員協力金	7,200
雑収入・利息	11
合 計	585,021
支出の部	
交通費	16,000
慶弔費	10,000
会議費	33,400
支部長会積立金	200,000
事務費	24,927
会報印刷費	43,000
郵送費	77,750
記念品代	36,750
予備費	14,100
小 計	455,927
次年度繰越金	129,094
合 計	585,021
会計事務 小泉眞悦、監査 根深得英	

資料 3 (第 3 号議案)

平成 1 6 年度活動計画
 (平成 1 6 年 5 月 1 日 ~ 平成 1 7 年 4 月 3 0 日)

1. 総会
平成 1 6 年 5 月 2 6 日 に 開 催 す る。
2. 各支部で実施する。
3. 地区別支部長会地区別支部長会副会長は開催日、希望する地区の副会長等本部に申し出る。(今年度は副会長の改選時期に当って)
4. 年会の改正を提案し、各支部で別紙、第 5 号議案 (改正案は別紙、第 5 号議案 (参照))
5. 第二十四号、第二十五号を発行する。
6. 財政の健全化に向けて
7. 財政の健全化を期して会費納入者増加を図る。
8. 管理職の希望者への研修並びに表職を昇任された方々への祝い
9. 新採用教員予定者激励会を実施する。(当分の間、東京支部が主催する)
10. 大学の創立百二十五周年記念事業の趣旨に賛同し、その募金活動の推進を図る。
11. 大学の学生募集に協力する。(以上)

資料5 - 1 (第5号議案)

東京理科大学教育会規約の改定案

(現行)	(改定案)
<p>1. 名称 本会は東京理科大学教育会という。</p>	<p>東京理科大学理窓教育会 理窓会の他の関連組織の名称との統一を図った。</p>
<p>2. 目的 本会は教育界における同窓の資質の向上を図ることを通して教育の発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的とする。</p>	
<p>3. 事業 前条の目的達成のため次の事業を行う。</p>	
<p>(1) 大学から委託された教育に関する事業</p>	<p>(1) 大学の諸施策に協力する事業</p>
<p>(2) 会員の資質の向上に関する事業</p>	
<p>(3) 会報の発行</p>	
<p>(4) 組織の構成に関する事業</p>	
<p>(5) その他本会の目的達成に必要な事業</p>	
<p>4. 会の構成 本会の会員はかつて教職に関係し、または現に教職に関係している同窓とし、次の4つの部会から構成する。</p>	<p>4. 会員 本会の会員は、かつて教職に関係し、または現に教職に関係している同窓、および、本会の目的に賛同する教職関係者以外の同窓とする。</p>
<p>(1) 行政部会 教育行政に所属する者</p>	
<p>(2) 高校部会 公立の高等学校に所属する者 大学等に所属する者</p>	<p>「次の4つの部会から構成する。」以下削除 全国組織では、部会はほとんど機能していないので必要性がない。各支部では必要に応じて設置する。</p>
<p>(3) 小・中部会 公立の小・中学校に所属する者</p>	
<p>(4) 私学部会 私立学校に所属する者</p>	
<p>5. 部会の運営 部会の運営とその方法については会の理事会の承認を得て別途規約を定める。</p>	<p>5. 削除 以下、番号を繰り上げる</p>
<p>6. 役員 本会には次の役員をおく。 会長 1名 会長は、副会長の中から互選により選出する。 会長は本会を代表し、会務を統括する。 副会長 10名 副会長は会長が総会にはかり委嘱する。 副会長は次の各地区の支部長から選出される。 北海道 東北 関東 中部() 中部() 近畿 中国 四国 九州 沖縄</p>	<p>会長は、副会長の推薦で選出する。</p>
<p>(1) 地域より選出された副会長はその地域の支部長との連携を深め、会長を補佐する。</p>	<p>東京地区を追加する。</p>
<p>(2) 会長はあらかじめ会長の職務を代行する副会長を委嘱することができる。 理事若干名 必要に応じて会長が委属する。 理事は会長の命を受け会の業務を処理する。</p>	<p>5. 役員 の条項に、以下の役職を追加する。 監査 : 本会の業務・会計の監査に当たる 理事会が推薦し、総会で承認する。 名誉会長 : 長年会長を務め功績のあった者 会の運営について、指導助言する。 理事会の推薦により、会長が委嘱する。</p>
<p>7. 役員任期 役員任期は3年とする。ただし、再任を けない。</p>	<p>参与 : 支部長・副会長を務めた者のうち、支部から推薦のあった者 本会及び支部の活動について指導・助言する。 支部の推薦者の中から、理事会の審議を経て会長が委嘱する。</p>

資料 5 - 2

8 . 会議

本会における会議は次のものとする。

総会 年 1 回

本会における議事は事務局がまとめ提案し、議長は会長がこれに当たる。ただし、必要により、会長が指名する者がこれに代わることができる。

理事会は必要に応じて会長が召集する。

支部長会は地区の副会長の要請を受け、会長が召集する。副会長が議長に当たる。

地区別支部長会

9 . 支部

本会は各都道府県に支部をおく。支部に事務局をおく。

支部長は所属する支部を統括し、本会との連携を深める。

支部の規約は本規約に準じてそれぞれの支部において定める。

10 . 事務局

本会の事務局を東京理科大学におく。

本会の事務局を理窓会事務局内におく。

11 . 会費

会費は年額 1 0 0 0 円とする。

12 . 付則

(1) 支部においてその地域の理窓会の支部長が本会の会員でない場合は理窓会の支部長を顧問としておくことができる。顧問は、会長がその支部の意を受けて理窓会と協議の上、依頼する。

(2) 支部長会または支部が支部総会を行う場合その要請に応じて役員等を派遣することができる。

地区別支部長会

支部長会、支部総会に出席する役員等は会長もしくは会長が委嘱する者とする。

地区別支部長会

(3) 第 6 条の副会長の項の中部 () は、静岡、山梨、愛知、岐阜、長野の各県により構成される。

第 5 条

また中部 () は、新潟、富山、石川、福井の各県により構成される。

(4) 副会長の再任については、1 回限りとする

(5) 副会長候補は、そのブロックの支部長の協議の結果を受けて本部が会長に推薦する。

以上

平成 8 年 5 月 2 2 日改正

平成 1 3 年 6 月 3 0 日改正

平成 1 7 年 改正

アンダーラインを付してる部分は、改訂案文を示す。

を付した文面は、説明ないしコメントである。

本案は、全くのたたき台であり、各支部で支部総会等の機会にご検討いただき、来春 1 月頃までにご意見を頂き、理事会で正式の改定案を作成し、来年の総会で決定する。

支部便り

東京理科大学教育会十六年度

新規採用教員・

管理職選考合格者激励会報告

廣瀬 和昭(49S専・数学)

平成十六年三月六日、新規採用教員・管理職選考合格者激励会が、東京支部の主催で東京理科大学「森戸記念館」において開催された。八十名を超える新規採用教員予定者に案内をし、そのうち二十二名が参加した。今年度の管理職試験に合格された会員その他、三十名の現職、OB教員が出席し、新しい後輩の門出を祝うと共に教育会の現状についての情報交換を行った。

酒井洋会長は開会の挨拶で理大に於ける教育会の果たす役割と新規採用教員の心構えについて訓話され、大きな期待を伝えた。さらに来賓としてご出席の石井忠浩理事は理事長に代わり本大学の果たす役割は社会に貢献出来る有能な人材を送り出すことであると話された。鈴木公学長補佐は大学改革が具体的に進められる中で、教員

希望者への十分なケアが組織として不十分であることを指摘され改革の意欲を表明された。宮川良男生涯学習課長からも祝辞と激励の言葉をいただいた。

同じ席上で、東京都教育管理職の昇任試験に合格された方への激励会も行われた。先輩からの激励に続き、合格者の代表から教えることの喜びと先輩からの指導を受けながら生徒に親しまれる立派な教員になるとの力強い決意表明があった。

引き続き2階に会場を移して懇親会を行った。小中部会部長の世田谷区立駒沢中学校會田良三校長の司会により懇親会は和やかな雰囲気のもとに始まった。研修委員会委員長の大立大江戸高校小久保正己校長より開会の挨拶があった。都立の改革は急速に進む中で新採教員は特に研修に努め自分に厳しく教員としての質を向上していくよう強く訴えられた。新採の諸君も激励会とは異なり、緊張もほどけ笑顔が見られるようになり、各先輩からのいろいろなるアドバイスに聞き入っていた。

また、新採の諸君からは自己紹介とともに教師としての熱い抱負が述べられた。昨年度よりも公立私立の教員採用状況がよく、一人ひとりの自信の様子が現れていた。和やかな雰囲気の下、同窓としての先輩・後輩の絆を深めつつ散会した。

理窓会の動き

「理窓会幹事会開催」

概要報告 奥原千里(32)

平成十六年六月二十七日

午後一時〜同三時二十分

東京理科大学一号館十七階、記念講堂にて、出席者百十八名、委任状二十四名があり、成立要件七十八名を超え、盛況のうちに行われた。

司会 村田雄司(39B)

挨拶 会長 池田佐喜男(18C)

祝辞 理事長 塚本桓世(40B)

新幹事長挨拶 児島紘(40B)

議事の概要

議長 池田佐喜男会長

一号議案 平成十五年度会務報告

二号議案 同会計、名簿特別会計、

監査の各報告

三号議案 十六年度事業計画・

行事予定

四号議案 同予算

五号議案 会長の改選について

報告事項

学校法人東京理科大学創立百二十五周年記念募金支援について

理窓会ホームページの開設

(教育会のHPも、関連組織として、理窓会HPの中に創設した)

終身メールアドレスの配布

参与記授与者の紹介

(懇親会)

幹事会終了後、同窓懇親会が開かれた。池北雅彦常任理事の司会で、新会長の塚本桓世理事長の挨拶、岡村弘之学長の大学現況報告、池田佐喜男前会長の乾杯音頭で和やかに行われた。出席者一七七名。

(支部長会)

会に先立ち、「支部長の会」が開かれた。出席した支部は三十二都道府県、司会田村應和(3

SS)支部の課題、アイディアなどの活動報告があつた。

「理窓会・東京支部総会開催」

概要報告 伊藤 操 (36B)

平成一六年五月二十二日

午後四時～同五時二十四分

東京理科大学森戸記念館にて、出席者七十名、委任状提出者二百八十名で正会員数一四八六の五分の一の二九八名を超えて、総会は成立した。

(総会の部)

司会 磯脇一男(39S)

招待者九名の紹介

挨拶 支部長 井上吉靖(27B)

祝辞 理窓会会長 池田佐喜男

(18理化)

議長 磯脇一男(同)

一五年度事業報告と決算報告

16年度事業計画と予算案

会則改定案

役員の増員案

理窓会常任幹事会への提言

以上すべて、賛成多数で承認

された。

(懇親会の部)

総会終了後、懇親会が開かれた。

司会 小泉眞悦(24S)

挨拶 東京支部長 井上吉

(同)

祝辞 学 長 岡村弘之

乾杯 副支部長 酒井 洋

(エキジビション)

祥子&ボブの祥子のヴォー

カルを楽しむ。祥子は理科大学

卒業生(本名:布井祥子P理S)

「時を超えて」、「上を向い

てあること」、「北星」など披

露し、皆感動する。

中締め 監査 半谷精一郎

(50工電)

閉会の言葉 副支部長

菅原俊一(39B)

午後五時三十分

～同六時四十五分

事務局について(お願い)

教育会総務理事 笹沼亀治

会報二十一号、二十三号でも

お知らせいたしました。教育

会が理窓会の関連組織に位置づ

けられたのを期に、教育会事務局を左記の理窓会事務室に同居させていたしております。しかし、事務担当者、教育会専用の電話、FAXは経理上置けない状況です。

会員のみなさまには甚だご不便をおかけいたしますが、当面、郵送による書面でのご連絡をお願いいたします。

T 162-0825

東京都新宿区神楽坂

二一三三-一

理窓会館四階

教育会事務局 宛

会費納入のお願い

笹沼亀治(24S)

十六年度の教育会年会費(千円)がまだ未納の方は、同封の振り込み用紙でお払いくださるようお願いいたします。支部一括納入の際は、支部の方法で支部長に納入ください。

なお、納入済みの場合は次年度用が、入会をお勧めされると

きなどにご利用くださいますようお願いいたします。

教育会ホームページ開設

伊藤 操(36B)

小原政敏(41B)

七月二十日に、理窓会のホームページに関連づけて作りまし

た。ホームページアドレスは次の通りです。

http://www.hq.sut.ac.jp/~ri_sokai/

検索で「東京理科大学同窓会」を入力して、トップページを開き、「関連団体ホームページ」をクリックし、さらに「教育会」をクリックしても開きます。

- ・ 研修会などのお知らせ
- ・ 会報記事

・ 大学・理窓会などの連携などを載せ、みなさまと情報交換を図る一助にしたいと考えています。是非、ご意見、ご要望、ご提案などをいただきたいと思います。

新任教師の抱負

この4月に多くの後輩が新規採用教員となつて全国に赴任していきまされた。今年は、公立学校合格者六二名(昨年四四名)、私学合格を合わせると八八名(同六三名)がありまされた。全員が赴任できたと考えられた、この数年、大躍進いたしてあります。

全国から、新任教員の力強い抱負、感想が寄せられました。

岩手県盛岡市立見前中学校

教諭 佐藤 勝彦

私はこの三月に理学部第二部数学科を卒業した佐藤勝彦と申します。晴れて念願の教師となり、岩手県盛岡市立見前中学校に配属となつて約三ヶ月になります。忙しい毎日ですが、だいが学校生活にも慣れてきました。現在は二年生の副担任をしています。授業は二年生四クラスと一年生の「一」、それから三年生の少人数の授業を受け持っています。担当の部活動はバレーボール部です。

毎朝、登校の途中や学校で生徒に「佐藤先生、おはようございます」と生徒に声をかけられると、よし、今日もやるぞという気持ちになり授業にも熱が入ります。

また、生徒たちとすぐにならなけることができまされた。去年私は小学校で一年間ボランティア活動をやつていました。そのとき子供たちと接する経験がありそれが活かされてると感じました。

授業では毎回学習シートを準備してそれを使つて行つていきます。生徒を思い浮かべると夜遅くまで

かかつて、頑張ることができます。そして何よりも生徒に分かやすい授業をしたいという強い思いで準備をしています。それを使つて一つ一つの授業に勝負をかけるつもりです。そして自分に足りないものを吸収するために、先輩の先生方の授業を見て学び、自分の授業を見てもらい改善したほうがいいところを教えたいたしながら、分かります。授業を目指しています。

部活動では子供たちと、ともに汗を流しながら中総大に向けて取り組んでいます。三年生にとつては中学校生活最後の大会なので、いい結果を残すことができるようにコーチと部員たちとともに練習に励んでいます。

校務分掌は生徒指導部で私は交通安全を担当しています。朝、通学路に立ち登校して行く生徒に声がけをして、眠そうなお朝、友達とじゃれあいながら登校してくる生徒などさまざまです。

私が教師になれたのは、お世話になつた理科大の先生方、一年間ボランティアを通してさまざまなお話を教えてくださった小学校の先生方、そして小学校の子供たち、それから就職を志した友のおかげです。本当に感謝しています。あがりかとうございまされた。これから一人前の教師を目指してがんばつていきたいと思います。

開智学園中学高等学校(埼玉県)

教諭 久保 可菜子

教員生活がスタートし、二ヶ月が経ちました。去年の今頃、教育実習にまけた気持ちが高まつていたことを懐かしく思います。

現在、私は埼玉県岩槻市にある開

智学園の中高一貫部で一年生の副担任をしています。同じ敷地内に小学校・中学校・高等学校が入っているため大変にぎやかななか、忙しいも充実した毎日をお過ごしいます。授業・部活動・校務分掌などそれぞれの仕事を、校務分掌という仕事の重さを感じ、教員としての仕事の課題が次々とできては、それを達成しようと奮闘する毎日です。まだ二ヶ月しか経っていませんが、学んだことはたくさんあります。

まず、授業において学んだことは、教員になつてからこそが数学をより深く学ばなければいけないという事です。授業において、生徒がこちらが思いもつかなかつたようなひらめきや疑問を投げかけてくること、生徒の意見をうまく取り入れ、即座に対応した授業を展開するには、より深い数学の知識が必要だと痛感しました。

本校の数学の授業は「代数」「幾何」「解析」などに分かれており、学力別の少人数クラス編成を行つていきます。このような特徴をつまらなく生かすことができる授業づくりをするためにも、数学をより深く伝える」ということを念頭に置いてこれからは数学を学んでいきたいと思います。

また、校務分掌で学んだことは、指示を待つのではなく、次にやるべきことは何なのかを自ら考えて仕事を進めていくことがいかに大切かということ、確かに教えるて頂かなければ分らないことばかりです。当初、私は指示を待ち、指示を受けたことだけ完成にこなそうではなく、確認をしながら自

ら積極的に物事をこなすことが「仕事をやる」ということだと学びました。教えることは学ぶこと」という恩師のアドバイスを忘れず、この数々の波のように押し寄せる仕事をたくさんのことを学んでいきたと思ひます。今後ともご指導の程、よろしくお願ひ致します。

東京都大田区立大森十中学校

教諭 高野由紀子

教育の荒廃が叫ばれている今日の社会において、子ども一人ひとりを人間性豊かに育てていく教師の職責は大きい。私はそのことに以前から気付いてはいたはずであるが、教師になるための努力をしてこなかつた。いや、真つ向から試験に挑み破れることを恐れ、見ぬ振りをしていた、と言う言葉が一番相応しい。しかし、ある校長との出会いによつてすべてが変つた。教師になりたいたいと思ひながら、何の努力もしなかつた私に、頑張り勇気と力を与えて下さつたのだ。そして今、こうして教諭として教壇に立っている。ここまで来るのに多くの時間を要したが、これまでの出会いは私の財産である。

現在は大田区の中学校に勤務している。まだ数ヶ月間であり、覚えていることの多さと忙しさに悪戦苦闘に励まされている。また研修に際して、小学校の授業見学や講習を受講していく中で、常に新しい発見があり、この仕事がいかに一層好きになりつつある。

私の座右の銘として時々つぶやいている言葉を紹介したい。

毎朝校門に立ち、生徒一人ひと

りに明るく声をかけている私がいる。生徒も大きな声であいさつをしてくれる。教室でも部活動でも、生徒と共に頑張っている私自身も姿がある。そして、生きる力を身につけ、社会に巣立っていきける生徒を、感動の中で見送る私がいる。そうなるために私は、研修に励みながら、魅力ある教師となるために全力を尽くす。

このことこそが私の原点であり、目標である。

**東京工業大学工学部
附属工業高等学校(国立東京)**
教諭 近藤千香

私は、今年度の新規採用教員として、東京工業大学工学部附属工業高等学校電子科に勤務し、第一学年の副担任をしています。生徒は大半が男子ですが、各クラスに四・五人ずつは女子がいるせいか、共学の学校に近い雰囲気があります。教員としての私は、毎日が勉強で、自分の未熟さを痛感し、なぜ私が採用されたのだらうか、と不安に思うこともしばしばです。この三ヶ月間、周りの先生方に暖かく見守られ、いろいろとご指導いただき、授業に熱心に取り組み生徒たちに助けられ、なんとか乗り越えてきました。

まず、私の経歴についてお話しします。私は、理科大の工学部経営工学科の出身です。実は、在学中は教員になることで、全く考えていなかったのですが、(当時はバブル期だっただけで)あると、当時のバブル期の人といった何歳なんだと思つた方はどうぞ計算してみてください。卒業後は、通信会社に就職しましたが、退社後、関連の子会社を

経て、近年は高校で情報の授業のアシスタントなどをしていました。当時、自分が教員でないことが残念でたまりませんでした。そこで、昨年度、情報科の教員免許を取得のため、工学部電気科科目等履修生となつたのです。情報の免許申請のために工業の免許も取得したのですが、その工業の免許のおかげで就職できたのですから、幸運としかいいようがありません。

電気科の出身ではない、大学業からかなり時間が経過している等々不安要素は大きいです。しかし、社会人経験があることは利点だ、小さな努力の積み重ねでできると一人前の教員になれる日がくると自分の暗示をかけるながら、一年後、三年後の自分を想像しています。昨日の自分よりも少しはありま

すが成長していると感じる、こんな時期は人生の中でもそうそうあるものではないかもしれません。日々努力、日々前進、その積み重ねによっていつしか一人前の教員になる、そう信じてがんばります。

神奈川県厚木市立藤塚中学校
教諭 中島 久美子

私は今年の三月に理学部第一数学科を卒業しました。教師になることは私の昔からの夢でした。念願の教員生活をスタートすることが出来、充実した毎日を送っています。

七月現在、中学一年生の担任をしています。部活は吹奏楽部です。授業は一年生と二年生合わせて十二時間担当しています。この他に、総合が二時間、道徳が一時間、学級活動が一時間あります。

生徒指導面では、どのように指導したらいいのか分からず、副担任の先生とともに指導するという

ことが度々あります。教科指導では、プリントを使って復習をしたり、小テストをしたりして、理解度を確認しながら進めています。

定期テストのあとには、必ずアンケートを実施し、授業を改善していこうと考えています。

担任はとて大変ですが、とても充実しています。一緒に笑つたり、喜んでいたり、教師になつてよかったと思っています。時に厳しく叱ることもあります。生徒に「先生って喜怒哀楽の哀がないよね。」と言われたこともあり、涙を流したこともありました。

生徒指導をしながら、ともに教科指導だけでなく、生徒と接する時間すべてが勉強だと思つています。

生徒にとつてベテランも新任も教師にかわりはありません。今年一年間、周りの先生がいる、自分自身の指導力を高めていきたいと思つています。今後ともご指導よろしくお願いたします。

愛知県立津島北高等学校
教諭 小祝 雅志

高校時代からの夢であった教師という職業について、二ヶ月半が経ちました。今、私が勤務している愛知県立津島北高等学校には、ちょうど教育実習生が二週間の実習に来ています。教育実習生を見ていて、去年の今ごろの時期に、私も教育実習生として実習校に通つていたことを思い出します。そして今現在、高校の教師として学校で勤務していることを考えると、本当に月日が経つのは早いものなのだと実感しています。

現在私は、第二学年の副担任を

して、毎日、毎日が勉強であり、楽しくもあり、つらくもありません。授業を受け持っている物理の授業を、今まで化学の勉強しかしてこなかったため、まず私自身が物理の授業内容を理解しなければなりません。そのため、自分で納得のいく授業展開ができずに、自分の不甲斐なさに落ち込んで、もう日もあなます。しかも、そのような未熟な私に対して、生徒は好意を寄せ、くれ、教師として接してくれ、私に毎日元気と意欲を与えられていきます。

ところで先月、修学旅行の引率教員として北海道まで行つて来ました。観光客の方に「修学旅行生ですか」と声をかけられました。周囲の人には、まだまだ自分が教師として見られていないのだと感じ、一日も早く、学生くささや、頼りなさを克服し、一人前の教諭として、安心感を与えられる存在になりたいと思います。

一生涯教諭を続けていくために、これからの一日一日を無駄にせず、日々勉強していきたいと思つています。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

沖縄県久米島町立具志川中学校
教諭 新垣 裕己

念願の教師という職業に就いて、早いもので二ヶ月が過ぎました。つい最近までは理科大生として、部活に熱中しアルバイトに明け暮れていたのが懐かしく思えます。現在、私は沖縄県本島から少し離れた小さな島にある中学校で数人教諭として勤務しています。青い空と青い海といった大自然に

まれ、週末は釣りをしたりバーベキューをしたりで、田舎の生活を満喫しています。この間は校内で蛇を見つけたというハプニングもありました。このような環境で育つ子ども達はやはり元気・笑顔・素直といった言葉がぴったりで、屈託がなくとも人懐っこいので毎日生徒とワイワイ楽しく過ごすことができている。少年犯罪が深刻化している日本、多忙な教師といわれる中で、私の想像とは全く違う教員生活のスタートだったと思います。

私は二学年の担任として赴任しました。初めての担任として、生徒とより長く、より近く接することができるとで学級経営に希望をふくらませて始業式を迎えました。しかし、男子生徒からライターの発見し初日から生徒指導を行う結果となりました。また、校長先生の手遣いで、私は数学における指導方法工夫改善の主任なので担任をもつてはいけないと告げられました。家庭訪問が終わった後にも関わらず担任をはずされ、生徒や父母への対応に追われました。

このような状況の中で私を助けてくれたのが先輩の先生方でした。気持ちと共有してくれた先輩方に感謝すると共に、いかなる問題でも職員全体で共通理解・共通実践をしていくことが大切だということ学びました。

私は今、教員採用試験で学んだ知識よりも、大学生活での部活やアルバイトで培ってきた経験が教員の中で生きてくると強く感じていますが、生徒と格闘して来る毎日ですが、これからは熱い気持ちをもつて指導していききたいと思いま

す。歴史ある理科大の教育会OBの皆様、今後ともご指導をお願いいたします。

管理職への昇格

平成一六年度の異動で、多くの同窓が管理職に昇格されました。心からお祝い申し上げます。
なお、昨年の名簿が未到着の県は過去二ヶ年間の昇格者を、そして、昨年、一昨年の名簿が到着していない場合は三ヶ年間の昇格者というように、前回の名簿と今年の名簿から推測いたして掲載いたしました。
初めて管理職に昇任された方には、教育会から記念品を送りました。

北海道

- 森 松治 48 理 K 町立大崎小長
- 稗貴 隆樹 49 理 S 東川高 長
- 緒方 公一 理 S 帯広三条高頭
- 石谷 克重 52 理 I B 足寄高 頭
- 松浦 重一 53 理 I S 下川商高 頭
- 議同 清秀 54 工 K 札幌工高 頭
- 竹本 将人 57 理 I B 登別大谷高長
- 佐藤 学 58 理 K 室蘭栄高 頭
- 菅原 和義 60 理 S 道教育研究所主
- 藤井 勝弘 60 理 I S 宗谷教育局主
- 三条 涉 62 理 O S 道理科センター 研究員

岩手

- 鈴木 勝治 43 理 O B 一関第二高長
- 添田 拓雄 46 理 B 大迫高 長
- 千葉 仁 54 理 S 杜陵高宮古分室頭
- 中川 勝一 45 理 K 一関市立金沢小長
- 高橋 信章 46 理 S 岩泉町立大川小長
- 福島
- 鈴木 仁 50 理 S 郡山萌世高長
- 青田 誠 55 理 O B 川俣町立山木屋 中長

筋内三紀夫 56 理 B 西郷村率西郷第二中 長

茨城

- 木川 正則 51 理 I 工 K 東町立東小長
- 佐川 康二 52 理 B 総和町立下辺見小 長

群馬

- 辻村 好一 46 理 B 太田西女子高 長
- 奈良 正幸 49 理 S 桐生女子高 頭
- 金井 貢 54 理 K 安中高 頭
- 小泉 清貴 49 理 S 渋皮高 頭
- 中澤 治 55 理 S 藤岡高 頭
- 大塚 道明 60 理 I S 県総合教育センター 指導主

千葉

- 北島 一雄 45 理 O K 国府台高長
- 乙部 修清 47 理 I S 浦安高 長

東京

- 黒澤 真木夫 52 理 I S 三宅高 長
- 北原 都美子 46 理 S 私立千代田女子学園中高 副校長
- 小萱 久 55 理 S 農産高 副長
- 石澤 友康 61 理 K 私立東洋英和女学院 中学部 頭

神奈川

- 坂 裕之 50 理 S 藤沢工科高長
- 後藤 伸彰 53 理 S 多摩高 頭
- 大野 田吉 45 理 S 野沢北高頭
- 上平 正明 48 理 K 富士見高 頭
- 尾沢 学 53 理 S 上伊那農高 頭

静岡

- 竹下 一志 56 理 I S 細江町立中川小 頭

岩手

- 橋本 武 45 理 O S 海南高 長
- 小嶋 雅文 47 理 K 作手高 頭
- 山内 悦治 47 理 I B 藤岡町立中山小 長
- 竹内 真人 43 理 S 知多市立旭東小頭
- 富山
- 粟原 正嗣 45 理 S 新湊高 長
- 吉本 久信 50 理 O S 朝日町立朝日中 長

辻井 満雄 52 理 S 新湊市立新湊西部 中長

京都

- 小川 悦朗 46 理 O S 富山教育事務所 所長
- 原 純夫 49 理 B 長岡市立第二中頭

大阪

- 野村 利夫 45 理 S 八尾高 長

岡山

- 高野 享 51 理 I S 岡山市立山南 中頭
- 杉 聡史 54 理 S 上斎原村立上斎原 中頭
- 荒尾 真 52 理 B 岡山市立岡北中頭

広島

- 前 真一郎 52 理 S 加計高 頭
- 薄井 光二 48 理 O S 私立呉港高長
- 竹内 修 55 理 I S 広島市教育委員会 指導主
- 常広 健治 61 理 I S 県教育委員会 指導 指導主

福岡

- 桑田 厚司 50 理 K 福岡工高 頭
- 白石 隆佳 51 理 O S 稲築志耕館高頭
- 新飼 友一 54 理 O B 佐習館高 頭
- 松崎 貢 54 理 K 久留米市 教育委員会 指導主
- 山崎 満司 52 理 S 志摩中 頭
- 佐々木 正彦 54 理 I S 南陵中 頭

熊本

- 桑崎 剛 56 理 S 熊本市東部中頭
- 鹿兒島
- 宇都 毅 43 理 O S 坂元中 長
- 石塚 寛 50 理 B 甲南高 頭
- 神園 良和 58 理 B 立神中 頭
- 堀ノ内 昭一 59 理 K 舞鶴中 頭

編集後記

教育会が活性化できるよう編集委員会も頑張りしたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。
編集委員長 瀧上文雄 (51C)

東京理科大学教育会 支部別管理職者数及び会費納入者数

県名	管理職者数									会費納入者数				
	高長	高頭	中長	中頭	小長	小頭	行政	私長頭	合計	年 度				
										15	16	17	18	19
北海道	4	6			1		3	1	15					
青森				2					2	1				
岩手	2	3		5	2	1	1		14	32				
宮城		1		3					4	14	15	4	3	1
秋田	1	1		6	2		5		15	19	20			
山形	2						3	1	6					
福島	3		9	1				1	14					
茨城	2	4	2			3	6	1	18	17	3	1		
栃木	1	2	2	5	1	1	2	1	15					
群馬	2	6					1		9					
埼玉	10	10	4	4	2	3	7		40	30	4			
千葉	8								8		1			
東京	10	21	36	60		3	15	20	165	80	34	7	4	1
神奈川	12	18					6	4	40	74	8	1		
山梨	1	1		1		1	1		5					
長野	2	8							10	1				
静岡		3	1	5	5	2	2	2	20	25	5			
愛知	2	1			1	1	1	1	7	2	2			
岐阜						2			2	1	1			
三重	1	1							2	1	1			
新潟	4	6	9	13	2		6	2	42	2	1			
富山	1	1	2				1		5	12				
石川						1	1		2					
福井						1			1					
志賀						1			1					
京都	1			2					3		1			
大阪	2								2	6	5			
兵庫		1							1	16	6	1		
奈良	1					1			2	5				
和歌山		1							1					
鳥取									0	4	1			
島根									0					
岡山			2	4			2		8	3	1			
広島	1	3	3			1	5	3	16	42	5			
山口	1	1		2		1			5	2	1			
徳島		3			1				4					
香川		1				1	1		3	3	3			
愛媛	1	1	2	2					6	1	1			
高知	1	2	1	3			2		9	1	1			
福岡		4		2			1		7	3				
佐賀	1								1	1	1			
長崎				1			4	1	6	2				
熊本				1					1					
大分									0	1				
宮崎		1							1					
鹿児島	1	1	1	2					5	1	1			
沖縄									0	1	1			
合計	78	112	74	124	17	24	76	38	543	403	124	14	7	2

のついた支部は、平成16年度の調査で、報告がなかったもので、平成16年3月31日現在の集計である。